



NEW 新着図書



「少年と犬」

馳星周著
文藝春秋

家族のために犯罪に手を染めた男が拾った犬。守り神になったその犬はある意志を秘めていた。人生の無常と犬の神秘性を描いた全6編を収録。

「こんばるいろ、彼方」

椰月美智子著
小学館

1978年戦争が終わり体制が変わったベトナムから逃れるためスアンと子どもたちは船に乗った。家族小説の名手が70年代末に来日したポートピブルー家のその後を描く。



「死者との対話」

石原慎太郎著
文藝春秋

死に直面する作家が自在なリズムで自己と対話する。末期患者と看護人の間に芽生えた奇妙な友情…。死と直面する自らを捉える短編集。7編を収録。

「業平」

高樹のぶ子著
日経BP

歌人在原業平の一代記。日本で初めての小説化。現代語訳ではなく小説に紡ぐことで、日本の美の源流が立ち現れる。



「侵略者」(アグレッサー)

福田和代著
光文社

日本領空に突如現れた不明機による自衛隊機撃墜事件。行方不明となった2人のパイロットは独立国家樹立を目指すラースランドに拘束されていた。ミステリー小説。

「迷子のままで」

天童荒太著
新潮社

津波で失われたはずの生徒手帳。行方不明のまま長い時を経た少年の伝言。数千キロさきの故国を目指す男が遺した別れの挨拶には強いメッセージが発信されていた。



「芝居とその周辺」

井上ひさし著
岩波書店

新聞・雑誌等で好評を得ながらまだ著書に収められていないエッセイをテーマ別に編む。芝居とその周辺には芝居をテーマに同時代を生きる演劇人との交友やエッセイを収録。

「人の名前が出てこなくなったときに読む本」健康長寿の医者が教える

松原英多著
ロング新書

なぜ記憶力が低下し頭が鈍るのか。度忘れ程度のボケを軽度認知症と呼び脳細胞を活性化し認知症を防ぐための呼吸、食事、運動、習慣を紹介。



「すぐできる!かわいい手作りマスク」 ブティック社

シンプルマスク、プリーツマスク、立体マスク、ノーズフィットマスク…。かわいいマスクの作り方を紹介します。マスクケースの作り方も掲載。毎日のマスク生活が楽しくなります。手作りならではのデザインが満載。ぜひ、挑戦してみてください。

毎日の元気を応援する お役立て本情報!



「おうち遊びのワンダーランド」

いかだ社

家庭ですぐ楽しめる39の遊びを収録。そとそとの輪くぐり、綱引き、にらめっこなどの準備のいらない遊びと、くるくるもよう車、吹き矢ダーツなど、親子で楽しむ手づくりおもちゃを紹介しました。



「これから」の時代(とき)を生きる君たちへ

ドメニコ・スキラーチェ著
世界文化社

2020年2月25日、ウイルス感染が拡大するイタリアの校長先生が、休校になった生徒たちに送った感動の手紙を全文公開。日本の若者に向けた追伸も掲載しました。